

平成30年度予算見積調書

課室名：シニア活躍推進課

担当名：推進担当

内線：4539

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B118	シニア活躍アプローチ事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	シニア活躍推進事業費	
事業期間	平成30年度～平成33年度	根拠法令	雇用対策法第5条	宣言項目		05	シニアの活躍推進		
				分野施策		030728	高齢者の活躍支援		
<p>1 事業概要</p> <p>退職するサラリーマンに、市町村と連携して、仕事や地域活動、ボランティアなどの相談窓口が記載された「生涯現役カード」を配布し、退職後の活動につなげる。また、40～50代の現役サラリーマンを「シニアライフ案内士」として養成し、同僚や自社への働き掛けを行い、第二の人生を有意義に過ごすための準備を支援する。</p> <p>(1)退職するサラリーマンへの働き掛け 5,998千円 (2)現役サラリーマンへの働き掛け 31,168千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 市町村の国民健康保険窓口との連携により、退職者に「生涯現役カード」を配布する。また、生涯現役カードの内容について電話で相談に応じ、各窓口につなげる。 イ ライフプランセミナーを行い、受講者を「シニアライフ案内士」として養成する。案内士は同僚や自社に働き掛け、第二の人生を有意義に過ごすための準備を支援する。また、業界団体・金融機関と連携したセミナーを実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 生涯現役カードの配布 電話相談窓口の設置（通年） イ 「シニアライフ案内士」の養成 2,000人</p> <p>(3) 事業効果 ア 退職するサラリーマンに相談窓口の紹介を通じて、退職後の活動につなげる。 イ 40～50代の現役サラリーマンをシニアライフ案内士として養成し、同僚や自社に働き掛け、第二の人生を有意義に過ごすための準備を支援する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村、業界団体、金融機関等と連携して実施する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円									
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
予算額									
決定額	37,166							37,166	37,166
前年額	0							0	